



文京区青少年プラザ

ビーラボ

b-lab通信 第27号

今月の短歌
【意味】花柄のてるてる坊主と、眼鏡をかけたてるてる坊主が並んでいる。(どちらも私が知っている)「白い布でできたてるてる坊主」とは違う。そのてるてる坊主には、つくり手の顔が透けて見える。学校も学年も異なる中高生が仲良くこれをつくっている姿は、てるてる坊主と同じように、なんだかとても素敵だな、と思う。それぞれのてるてる坊主の姿が、中高生の姿に重なる。



▲ てるてる坊主をつくる中高生たち(写真上)、第12期中高生スタッフ始動(写真下)

(つくりてのすがたかさなるてりぼうし)

めがね、はながら、かれんにならぶ)

作り手の姿重なるてり法師

眼鏡、花柄可憐に並ぶ

b-lab通信とは？ 2015年4月1日にオープンした中高生向け施設「文京区青少年プラザb-lab」の運営や、活動をお知らせするため、区内の中学校と高等学校等の教員の皆様、及び地域の皆様に向けて発信する広報誌です。

雨に映える紫陽花の花も美しく咲き誇り、初夏の風に肌も汗ばむ季節となりました。

新学期開始から早くも2ヶ月が経ち、中高生たちは新しい生活に少しずつ慣れてきたようです。4月にb-labを初めて訪れた中学1年生たちは勉強をしたり、スポーツを楽しんだり、職員や友達と語り合ったりとすでに思いの楽しみ方でb-labを活用しています。

5月13日(日)には、第12期b-lab中高生スタッフの活動がスタートしました。中学1年生から高校3年生までの37名が、自分の「やってみたい」をかたちにするため新たな挑戦を始めました。

そんな彼ら彼女らに、今年の夏も熱く伴走していきたいと思います。

☞ b-lab情報は公式Webサイトより

<http://b-lab.tokyo/>

ビーラボ 文京区

検索

1. b-labからのお知らせ

■ 今年も『出張b-lab』が始まりました！

区立中学校を対象とした出張b-labを昨年に引き続き実施します。実施にあたり、先生方のご理解ご協力に感謝申し上げます。

■ 第12期中高生スタッフの活動が始まりました！

中高生スタッフとは？b-labの各種イベントや企画運営にチャレンジする中高生です。b-labをよくしたい、なにか始めてみたい！自分が通う学校以外の人と活動してみたい！という人が集まり活動します。第13期中高生スタッフ募集は8月頃を予定。【12期活動期間：5月～8月末/活動場所：b-lab】



2. b-labスタッフ紹介

中高生の新たな居場所とステージをつくる
新副館長 学校とb-labの架け橋をめざして

はじめまして、b-lab副館長の米田瑠美と申します。b-labを運営するNP0カタリバの職員として、この4月に異動して来ました。それまでは高円寺を拠点に、首都圏の高校にキャリア学習の出張授業「カタリ場」を届けてきました。高校生にとって利害関係のない、一歩先を行く先輩である大学生＝「ナナメの関係」と出会い、本音の「対話」を通して、高校生が一歩踏み出すきっかけになる、という「カタリ場」。一期一会の価値を信じ経験してきた語り合う機会の大切さは、中高生の日常に伴走できるb-labにも繋がるころはあると感じ、1人1人にとって大切な居場所とステージを新たに全力でつくっていきたくと思っています。

b-labでは、主に、学校にお届けするこの「b-lab通信」等広報を担当しています。「b-labたより」「Cha! Cha! Cha!」等一部プロジェクトは、中高生スタッフの「やってみたい!」の気持ちを大切に生徒主体で、伴走役である大学生とともに動かしています。b-labの温かさや熱量をそのままにお伝えすることを心がけ、中高生にとって魅力的な紙面づくりに一緒に励んでいます。また、b-labをお伝えする過程で、先生方にもお会いできる機会がありましたら、文京区内の各学校のこともより一層学ばせていただきたいと思います。

日々、中高生を支える先生方にとってもb-labがご協力できる場になればと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

よね
(米田 瑠美)

3. イベント レポート

学習・スポーツ・ダンス 多種多様なイベントで新たなきっかけを!

■探究の入口 PinPointPresent

5月5日(土)に「PinPointPresent(ピンポイントプレゼン)」が開催されました。10分の持ち時間で、発表者がそれぞれの大好きなものを熱く語ります。今回の発表者は12人。「方言」「水」「百人一首」「フィルムカメラ」など多種多様なテーマが並びました。

自分の「好き」を突き詰めて調べ発表することや、他の人の「好き」を知ることは、どちらも中高生に新しいきっかけを届ける機会になったと考えています。

--参加した中高生の感想をどうぞ!

- ・発表は3回目だから慣れてきたけど、まだ改善点はある。もっと練習すべきだった。本当に好きなものを紹介している人は目で分かる。愛が伝わった。【高校3年生女子】
- ・緊張した。他の人の発表がすごかった。自分の準備不足を感じた。【中学2年生女子】
- ・自分の発表に納得がいかない。周りのみんなの発表が凄かったから、なおさら悔しい。次こそはオチをきめたい。【高校3年生男子】

参加した中高生たちも全員が初体験でした。現役の日本代表選手でもある、b-lab職員の存在が、中高生たちに新しいきっかけを届けることになりました。



▲白熱した試合の様子



▲「目指そう日本代表」の張り紙

--参加した中高生の感想をどうぞ!

- ・みんなが野生に戻っているようで見ていて楽しかった。【中学2年生女子】
- ・楽しかった。アングル(足首をつかむ技)が決まると気持ちいい。【高校2年生男子】
- ・スリルのあるスポーツだった。分かりやすく教えてもらえてよかった。【中学2年生女子】

■スペシャルダンスワークショップ

5月19日(土)にb-labのホールでダンスのワークショップイベントが行われました。単にダンスを踊るだけではなく、課題曲のテーマでもあった「本当の自分ってなんだろう」という問いをとおして自己を見つめる時間となりました。



▲振り付けを教わる中高生



▲自己を見つめるワーク

--参加した中高生の感想をどうぞ!

- ・本当の自分を見つけられた気がした。すごく楽しかった。【高校1年生女子】
- ・心が動いた。今の自分に満足していないから、もっと頑張ろうと思った。久しぶりのダンスだったけど、しっかり身体が動いた。【高校2年生男子】
- ・「本当の私ってなんだろう」と考えるきっかけになった。本当の私に正解はなくて、変わり続けるものなのかもしれないと思った。【高校1年生女子】



▲プレゼンに聞き入る中高生



▲圧倒的な調査量に沸く会場

■b-sports: カバディ

5月6日(日)に2018年度初の「b-sports」が開催されました。月に1回、b-labにスポーツの風を吹かせるこのイベント。今回はインドの国技でもある「カバディ」を行いました。企画・運営は、b-labの職員でありながら、カバディの現役日本代表でもある菊地拓也(きくち たくや)が担当し、当日は20人以上の中高生が参加しました。

中高生たちはカバディを初歩から学び、イベント終盤には本格的で白熱した試合を繰り広げました。

カバディは日本ではまだマイナーなスポーツで、



▲緊張感あふれる試合

4. b-lab施設利用

【b-lab内運動可能施設一覧】> 部活動の練習などにも、ぜひご活用ください。



- ・バスケットができる「プレイヤード」
- ・卓球ができる「軽運動室」
- ・ダンスの練習等の利用・スポーツイベントの実施ができる「ホール」



5. b-labへ行く

スポーツ活動にb-labの活用を!



住所: 文京区湯島四丁目7番10号
アクセス: 大江戸線「本郷三丁目駅」から徒歩8分
丸ノ内線「本郷三丁目駅」から徒歩10分

電話: 03-5800-2731
千代田線「湯島駅」から徒歩8分
都営バス「湯島4丁目」から徒歩5分

編集後記

春が過ぎ、夏の気配が近づくこのころ、中高生たちは新学期の環境にもだんだんと慣れてきたようです。放課後にb-labを訪れる中高生たちは、その日の学校での出来事を、いきいきと話してくれます。またこの春から新たにb-labを訪れた中学1年生たちも、b-labという空間に慣れ、施設を一杯活用しています。中高生たちは早くもそれぞれが新しい挑戦をはじめようとしています。そんな彼らに今年度もしっかりと寄り添い、背中を押していきたいと思っています。(b-lab渡邊)



詳しくはb-lab公式Webサイトへ

<http://b-lab.tokyo/>

ビーラボ 文京区 検索